

令和元年第7回太良町議会
(定例会第4回)

一 般 質 問 通 告 書

太 良 町 議 会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
11. 19	1	待永るい子	1. 認知症対策について 私たち総務常任委員会は認知症対策に先進的な取り組みをしている吉野ヶ里町へ視察に行ってきました。今後、増加していくであろう認知症への取り組みについて問う。 (1) 現在行っている認知症対策の効果について (2) 子供の頃からの教育について具体的にどのような学習を行っているのか (3) 今後の認知症対策について	町 長
			2. 買い物支援について 買い物支援についても吉野ヶ里町で先進的な取り組みを学習してきました。良い面はどんどん見習うべきだと考えるが、買い物支援について問う。 (1) 現在、買い物難民といわれる買い物に行けない状態の人はどれくらいいるのか (2) 現在、太良町ではどのような対策をとっているのか (3) 今後、買い物支援についてどのような対策を考えているのか	町 長
			3. 敬老祝金について 今回、町長選挙の公約のもと、再開された敬老祝金について問う。 (1) 敬老祝金が再開された経緯について (2) 敬老祝金の内容はどのような経緯で決定したのか (3) 今後、敬老祝金についてどう考えているのか	町 長
11. 19	2	西田 辰実	1. 観光の振興について 本町には、竹崎カニ賞味客や栄町の海中鳥居などの観光資源を目的に、国内はもちろん国外からも多くの観光客が見えられています。 そこで、観光振興に関する以下の4点について問う。 (1) 本町を訪れる年間観光客数及び宿泊客、日帰り客の内訳はどうか (2) 観光客の移動手段として多良駅等へのレンタサイクルの導入やコインロッカーの設置の考えはどうか (3) 現在の観光協会の役割と場所の移動は考えられないか (4) 観光交流人口増加のための今後の施策をどう考えているか	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
11. 19	2	西田 辰実	2. 町民提案制度の導入について 町民の声を生かすためにも提案制度が必要と思われま す。そこで、この提案制度について次の2点について問 う。 (1) 庁舎内への提案箱の設置は考えられないか (2) 行政推進に寄与する優秀な提案への記念品や商品券の提 供はどうか	町 長
			3. 長崎本線の活用について 長崎新幹線の運行が2022年春に開始され、このため、現在、 長崎本線を運行している「特急かもめ」が鹿島駅までの運行と なり、その運行本数も大幅な減便となる予定です。 住民生活や観光客への影響も懸念されるため、これからの在 来線の活用について問う。 (1) 現在の多良駅の利用客数及び利用客層はどうか (2) 長崎新幹線開通後、在来線にイベント列車を運行しては どうか	町 長
11. 27	3	竹下 泰信	1. 公的病院の再編・統合について 厚生労働省は令和元年9月に、高齢化により膨張する医療費 を抑制するため、全国の公立病院や日赤などの公的病院のう ち、診療実績が乏しく再編・統合の議論が必要と判断した424 の病院名を公表した。 県内では国立病院機構東佐賀病院（みやき町）、多久市立病 院、小城市民病院、地域医療機能推進機構伊万里松浦病院、太 良町立太良病院の5医療機関が公表された。 町立太良病院は町内医療の中心的な役割を果たしている医 療機関で、その存在意義は大きく、身近な医療機関として町民 も大きな期待を寄せている。 今回公表された内容は、唐突で地域の実情が反映されている のか大きな疑問があり、不安が残る。来年9月までに結論を出 すことになっており、今後、公表内容についての具体的な取り 組みはどのように対応していくのか、以下のとおり質問する。 (1) 今回、実名で公表された医療機関は、どのような診療実 績の基準で選定されたのか (2) 厚生労働省は再編・統合の議論を行い、来年9月までに 結論を出すよう県を通じて対象病院に要請するとなってい るが、具体的にはどう進めるのか (3) 佐賀県地域医療構想の進捗状況はどのようになっている のか (4) 今後、太良病院の運営方針に影響はないのか	病院長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
11. 28	4	山口 一生	<p>1. 高齢者の生活支援について</p> <p>高齢者福祉は本町にとって最重要課題であり、増え続ける支援先と減り続けるサービス提供者数のバランスを取ることが困難になると予想される。</p> <p>そこで、高齢者の生活の不安を軽減し、なお且つ、行政負担の低減を目的に技術を活用した課題解決のあり方について問う。</p> <p>(1) 現在の高齢者（独居・日中独居）の状況と今後の推移見込みはどうか</p> <p>(2) 高齢者や要介護者との日常的なコミュニケーションはどのように行われているか</p> <p>(3) スマートスピーカーを用いた高齢者見守り及びコミュニケーション活性化の考えはどうか</p>	町 長
			<p>2. ふるさと納税制度について</p> <p>ふるさと納税制度は、本町にとって非常に重要な財源として成長している。国のルール変更により、制度活用のためには非常に多くの配慮や準備が必要となっている。</p> <p>今後のふるさと納税制度への取り組みについて問う。</p> <p>(1) これまで寄付をくださった方の総数とその方々への情報発信はどうなっているか</p> <p>(2) 寄付に対する使途公表方法とその効果はどうか</p> <p>(3) ふるさとチョイス以外の寄附窓口を利用しないのはなぜか</p> <p>(4) 経費 50%ルールへの対応には広告費の削減が必要と考えるが、寄付額を維持することは可能か</p>	町 長
			<p>3. 町民への情報提供等の方策について</p> <p>現在、行政からの町民への発信や意見収集は主に紙媒体を通じて行われている。紙媒体は配付に手間がかかり、町民の中には負担になっている方もいる。</p> <p>第5次太良町総合計画（素案）に対する意見収集の例を用いて、今後の情報発信・受信についての方策を問う。</p> <p>(1) 第5次太良町総合計画（素案）に寄せられた意見件数とその内容の取りまとめはどうなっているか</p> <p>(2) 現在の情報提供方法とその効果はどうか。また、明らかになっている改善点はどうか</p> <p>(3) 情報技術を活用した低コストかつ確実な情報発信・受信への取り組みの考えはどうか</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
11. 28	5	松崎 近	<p>1. 公共用地への電力供給設備（ソーラーカーポート）の設置について</p> <p>原子力に替わる電源が期待されているなか、今回、庁舎駐車場等公共用地に設置された電力供給設備（ソーラーカーポート）について問う。</p> <p>（1）電力供給設備（ソーラーカーポート）の設置目的と設置状況について</p> <p>（2）貸付期間及び貸付料について</p> <p>（3）償却資産に係る税収見込みについて</p> <p>（4）本設備に対する賃借権等の登記の状況について</p> <p>（5）本設備への投資額及び残存簿価の算定方法について</p>	町 長